

# 桜木東だより

校訓  
夢をもち  
よく学び  
よく遊び  
よく鍛えよ

桜木東小 学校便り No.16

発行日 令和6年10月3日

校長 片山 明光

## 校舎の色を子どもたちの投票で決める

先日、「すぐーる」で保護者の皆様にはお知らせしましたが、現在補修工事中の校舎と体育館の屋根の緑色が「熊本市景観計画の基準に合わないので屋根の色を変更しなければならない」との連絡がありました。熊本市の景観計画では、「色彩について周囲の自然や街並みに調和したものとする」となっており、現在の緑色は明るすぎるので、明るさを落とし周囲の木々の色と調和する「濃い茶色」(A案)ではどうかと教育委員会より相談がありました。元の色に戻るとばかり思っていた私は、「児童や保護者・卒業生・地域の方は緑色に愛着があるのではないだろうか」と相談し、その結果、基準に合う明るさを落とした「濃い緑色」(B案)も候補に入れていただきました。そして、「実際に通う子供たちの意見を尊重したい」と言っていただき、全児童一人一人に一票の投票権を与え、その結果でどちらの色にするかを決定することになりました。

ロイロノートのアンケート機能を使い、投票を行いました。その結果は、「濃い緑色」(B案)が全体の約75%近くを占め、**屋根の色は「濃い緑色」に決まりました。**子ども達一人一人がしっかりと考え、判断してくれたものと思います。結果については、教育委員会にも報告をしたところです。

今回、この結果を学校昼会で子どもたちに伝えましたが、その際、以下のような話もさせていただきました。

通常、校舎や体育館の屋根の色などは教育委員会で決められ、その決まったことに学校や子どもは自分たちの意見を言うことはありませんでした。今回は教育委員会学校施設課様のご厚意により、児童の意見を尊重していただけることになり、児童の投票で決めるという経験をさせていただきました。

A 濃い茶色



B 濃い緑色



### 皆さんに必要な力は？

現代社会では、**自ら情報を集め考え、判断し、行動できる力**が必要です

そして、周りの人と一緒になって、自分の意見を言ったり相手の意見を受け入れたりして、お互い納得する結論をまとめなければいけません。

このようにして、「**自分たちのことを自分たちで決め、責任を持って取り組んでいく**」ことがとても大事

難しい言葉になりますが、「**自ら考え、主体的に行動し、責任をもって社会変革を実現していく力**」を「**エージェンシー**」といい、皆さんに求められる力になります。

### エージェンシーを高めるには？

少しわかりやすく言うと、「**現状に疑問を持ち、現状を変えようとする力**」

学級の中に「**問題**」や「**変えたほうが良い**」と思っていることはありますか？

あれば、話し合い、解決策をみんなで考え、作っていきましょう。

この繰り返しによって、皆さんは将来、よりよい社会をつくりていくことができるようになります。

<子どもたちに話をした時のプレゼンの一部です>

民主主義国家の日本では、大切なことはみんなで話し合い、そして投票などによってみんなで決めます。みなさんは今回、民主主義社会の物事の決め方の練習をさせていただいたと思っています。

現代社会では、自ら情報を集め考え、判断し、行動できる力が必要です。そしてさらに、周囲の人と協働して、合意形成をし、納得解を導き出さなければなりません。このようにして自分たちのことを自分たちで決め、責任をもって取り組んでいくことが大事になってきます。このように「**自ら考え、主体的に行動し、責任をもって社会変革を実現していく力**(文部科学省)」を Agency(エージェンシー)といい、これから先、皆さんに求められるようになります。小中学校時代にそのような経験をたくさん積み、Agencyを身につけていってほしいと思っています。それが私たちの社会全体をよくすることにつながってきます。そのための取り組みも今後、学校で行っていきます。

現在の学習指導要領の理念は「よりよい学校教育を通じて

よりよい社会を創る」です。子どもたちが未来の社会をよりよくするためにも学校教育の役割は重要になってきています。学校はそのような気持ちを持ち、取り組みを続けていきます。